



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第76号

令和元年12月



巻頭言

副会長 辻 美 隆



令和初めての新年を迎え、皆様に於かれましては穏やかにお過ごしのことと存じます。

2020年はオリンピックイヤーということで、オリンピックに向けた整備が各地で進められております。

本学においても創立50周年記念の一環として教育実習棟「カタロスタワー」が昨秋完成し、11月9日に6年生卒業時OSCE、そして12月20日には4年生共用試験臨床実習前OSCEが新棟で実施されました。「カタロス」は本学の校歌にもある「清浄」「清い」を意味するギリシャ語で、「ソクラテスの誓い」から命名された講義棟「オルコスホール」と対をなす教育実習棟となっています。

ガラス張りの建物の中に入ると、クロード・ベルナル・ホールのエントランスとなります。「実験医学序説」で有名なフランスの生理学者クロード・ベルナル (Claude Bernard) の名を冠したこの講堂は300名収容可能な広々とした講堂であり、講演会のみならず学会・研究会などでも活用可能です。2階・3階および地下1階は基礎医学系の実習室で、生理学・生化学・病理組織学などの各実習に最適な施設となるよう設計されています。4階はシミュレーション・トレーニングセンターとなっており、各種シミュレータを用いたスキル・トレーニングの場としてのスキルラボに加え模擬病室を備えています。模擬病室には、医療ガス配管・吸引・ナースコールなどを接続する、実際に病棟で使用しているものと同じタイプのメディカルコンソールも設置してあり、患者急変や停電など状況対応トレーニングや人工呼吸器などの医療機器を用いたトレーニングも行えるようになっています。5階・6階はOSCEセンターとなっており、来年度から全国で正式実施となる共用試験 post-CC OSCE にも対応したモニタリング可能なOSCE試験室を計34室配置していますが、OSCE実施時以外はゼミ室として少人数学習などに活用されています。本邦でも有数のOSCE実施施設として「OSCEセンター」の名称を付けたおそらく初めての施設だと思われます。また、可変間仕切りで大きさを変えることができる演習室を9室備えており、医学英語などの演習・実習が行われて

います。7階は、演習・授業・グループ学習・プレゼンテーションなど多目的に利用可能なコンシリウム・ホールとなっています。カタロスタワーには随所にラーニングコモンというフリースペースが設けられていますが、学生が自主学習、語らいの場として活用しやすいよう機能的なデザインのテーブルと椅子を同窓会から寄贈します。カタロスタワー完成後、昨秋から様々な実習・演習の場として活用されています。

さて、昨年は自然災害も多く、各地に被害を及ぼしました。大学周辺でも台風による越辺川の氾濫などの被害があったことをテレビ報道などでご覧になった方も多いかと存じます。大学では、進学過程があった川角キャンパスに隣接するグラウンドが水没し、その後も汚泥により使えない状況が続いておりますが、幸いにもその他の診療・教育施設への被害はなかったようです。地球温暖化に関連し、今後、さらに自然災害が増加することが予測されており、災害の防止、災害発生時の対応など多くの課題が残っています。

一方、昨秋は本学にとって大変うれしい出来事がありました。令和元年11月3日の秋の叙勲で、山内俊雄名誉学長が瑞宝中綬章を受章されたことです。山内名誉学長は、平成16年8月～平成23年7月の間、本学学長を務められ、平成18年には医学部教員組織の改革を断行されました。医局講座制のもと、いわゆる主任教授に集中していた権限と責任を、教育・診療・研究の3分野に分け、基本学科の運営責任者が統括するという画期的なものでした。また、性同一性障害 (gender identity disorder, GID) に関する多大なご功績についても忘れることができません。平成10年に本学で実施された本邦初めての正式な性別適合手術実施に際し、学術的・倫理的審査の中心的な役割を担われ、その後、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」(いわゆる「性別に関する特例法」)の制定、精神神経学会「性同一性障害に関する診断と治療のガイドライン」など社会的にも大きな影響をもたらすことになったことなど皆様ご承知のことと存じます。同窓会といたしましても大変喜ばしいことであり、山内先生には今後とも大所高所からご指導ご鞭撻

をお願いしたいと思います。

令和4年(2022年)の創立50周年に向け、本学はますますの発展が期待されます。来年度の大学機関別認証評価受審、その翌年に医学教育分野別評価受審

を控え、教育の改革も急ピッチに進んでおります。会員各位におかれましては、大学・同窓会への更なるご協力を承りますようお願い申し上げます。

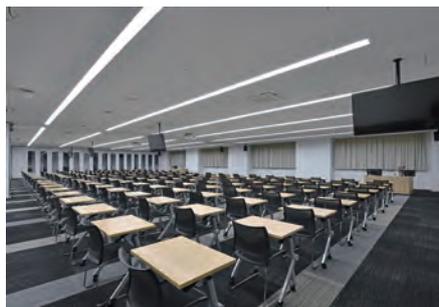
カタロスタワー竣工



教育実習棟「カタロスタワー」



1F クロードベルナールホール (左)
ラーニングコモン1: シリウス



7F コンシリウムホール



地下1F 実習室1

お 知 ら せ

海外留学奨励助成金の公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

* 申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、1年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、応募前年度までの年会費を完納している者。

* 募集期間（毎年）

前期 2月1日～7月31日

後期 8月1日～1月31日

落合記念賞研究助成金の公募について

第31回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して、1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を下記の通り公募致しますので、ご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第31回落合記念賞研究助成金応募要項

- 1) 申請資格者
埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、令和2年4月1日現在40歳未満の者とする。
- 2) 研究者
個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。
- 3) 研究期間
原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。
- 4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）
*申請書－所定の書式用紙〔3枚、7）に該当する者は4枚1組〕に記入のこと。
*推薦書－所属学科長ないしは科長、またはそれらに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

- 5) 申請期間
令和2年1月15日～3月31日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。
- 6) 助成金について
助成金は最高100万円までとする。
授与式は同窓会総会で行う。助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。
なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。
- 7) その他
申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお、同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、なるべく応募をご遠慮下さい。